

2月2日(日)

令和7年度 A日程入学試験問題

選 択 科 目 ①

(日 本 史 ・ 世 界 史)

— 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

日本史（歴史総合含む）	1～15 ページ
世界史（歴史総合含む）	16～32 ページ

- 2 選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。
- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。
解答用紙は2科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。
- 4 日本史・世界史ともに、大問5は「歴史総合」となる。大問5の解答欄は裏面にあるので解答忘れに注意すること。
- 5 試験時間は60分である。

日本史

1 この問題は、解答欄 1 ～ 8 に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

日本に仏教が公式に伝来したのは、百済の聖明王（聖王）から欽明天皇に仏像や経典などが献上されたときで、 1 によれば西暦552年のこととされている。7世紀前半の推古天皇の時代には、(2)中国・南北朝文化の影響を色濃く受けた、国際色豊かな飛鳥文化が花開いた。7世紀後半になると、律令国家形成期の清新さや明朗さを特徴とする白鳳文化が興り、 3 などの仏像や壁画が制作された。8世紀になると、聖武天皇の時代を中心に盛唐文化の影響を受けた仏教的色彩の濃い、豪壮で雄大な天平文化が展開した。(4)次の史料は、聖武天皇が発布した詔の一部である。

夫れ、天下の富を有つ者は朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富と勢とを以てこの尊き像を造る。事や成り易く、心や至り難し。但し恐るらくは、徒らに人を勞することありて能く聖を感じることなく、或いは誹謗を生じて反りて罪辜に墮さむことを。是の故に知識に預かる者は、懇ろに至誠を發し、各々介福を招かむ。宜しく毎日 5 を三拝すべし。自ら當に念を存して各々 5 を造るべし。如し更に人の一枝の草、一把の土を持ちて像を助け造らむと情願するあらば、恣にこれを聴せ。国郡らの司、この事に因りて百姓を侵擾し、強ひて収斂せしむること莫れ。(『続日本紀』、原漢文)

9世紀前半の 6 天皇の時代から9世紀中葉の清和天皇の時代を中心に、宮廷儀礼の唐風化や漢文学の隆盛が起こり、仏教も密教化が進んだ。この文化をふたりの時代の年号をとって、(7)弘仁・貞観文化という。その後、承和の使節を最後に遣唐使が派遣されなくなり、(8)次第に国文学が発達し、西方浄土への往生を願う浄土教が貴族社会に流行していき、神仏習合の傾向も強まっていた。

問1 空欄 1 にあてはまる書名として最もふさわしいものを、次の ア～オの中から1つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ア 『元興寺縁起』 | イ 『性霊集』 | ウ 『往生要集』 |
| エ 『古事記』 | オ 『日本書紀』 | |

問2 下線部（2）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 聖徳太子が物部氏との戦いの勝利を願って建てたのが四天王寺で、夢殿や五重塔などがある。

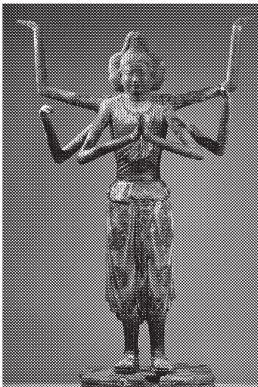
イ 広隆寺は秦河勝の氏寺で、木造の半跏思惟像は聖徳太子から賜ったものと伝わる。

ウ 法隆寺金堂にはエンタシス状の柱が現存し、百済観音像が本尊として安置されている。

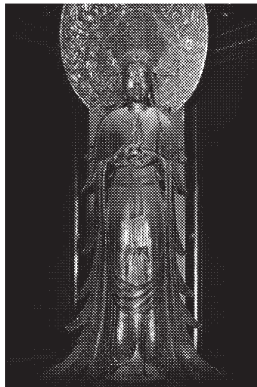
エ 飛鳥寺には、聖徳太子の死後に妃の橘大郎女が作らせた天寿国繡帳の断片が現存している。

問3 空欄 にあてはまる白鳳文化期の仏像として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

ア



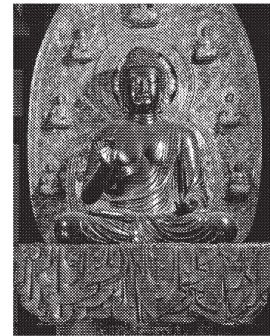
イ



ウ



エ



問4 下線部（4）が示す文中の史料を読んで、その内容として誤っているものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

ア この世の富と勢いをもつ私が尊像をつくるのは容易だが、願いがかなうのはむずかしい。

イ 人々に無駄な苦勞をさせるばかりで不平不満を生じ、かえって罪におとすことを恐れる。

ウ 一本の草や一握りの土を持参して請願しようとする人がいたら、話を聞いてやりなさい。

エ 国司や郡司は民衆の暮らしを苦しめたり、無理に物資を取り立ててはいけない。

問5 空欄 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の ア～オの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 盧舎那仏

イ 金銅仏

ウ 大仏

エ 釈迦牟尼仏

オ 弥勒如来仏

問6 空欄 にあてはまる人名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ
選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 桓武 イ 平城 ウ 嵯峨 エ 淳和 オ 仁明

問7 下線部（7）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解
答欄 にマークしなさい。

- ア この時期の木造彫刻は寄木造と呼ばれ、複数の木材を寄せあわせる技法がはじまった。
- イ 養老令の官撰注釈書である『令義解』が清原夏野を中心に編纂された。
- ウ 天台宗は円仁（寺門派）と円珍（山門派）によって密教化し、のちに両派は対立した。
- エ 勅撰漢詩文集として『凌雲集』『文鏡秘府論』『経国集』が編纂された。

問8 下線部（8）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解
答欄 にマークしなさい。

- ア 六歌仙のひとり紀貫之は『古今和歌集』を編纂し、かな文学である『土佐日記』を著した。
- イ 小野篁・藤原佐理・藤原行成の三人を、草書体の能筆家である三蹟（三跡）と呼んだ。
- ウ 平等院は藤原頼通の別荘を寺にしたもので、鳳凰堂は代表的な寝殿造の建物である。
- エ この時期、仏が神に権^{かり}に姿を変えてこの世に現れたとする本地垂迹説が盛んになった。

2 この問題は、解答欄 **21** ～ **28** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

北方の蝦夷ヶ島では (21) アイヌの文化が生まれ、彼らは津軽を本拠地とする **22** 氏と交易を行っていた。15世紀なかばに明が沿海州から撤退して北方交易が縮小するなかで、(23) 本州から移り住んだ和人がアイヌを圧迫するようになると、それにたえかねたアイヌは大首長 **a** を中心に蜂起した。一時は和人の居住地を攻め落とす勢いを見せたが、ほどなくして **b** の領主蠣崎氏によって鎮圧された。

南西諸島の琉球では、勢力争いを展開していた (25) 豪族たちが3つの勢力にまとまり、それぞれ明と貿易を行っていた。15世紀はじめに琉球を統一した尚氏は、(26) 那覇港を拠点に貿易を行い 繁栄した。首里城正殿の前につけられた大鐘の銘文には (27) 「琉球国は南海の勝地にして、三韓の秀をあつめ、大明をもつて輔車となし、日域をもつて唇齒^{しんし}となし、この二中間に在りて湧き出づるの蓬萊島^{ほうらいとう}なり。舟楫^{しゅうしゅう}をもつて万国の津梁^{しんりょう}となし、異産至宝は十方の刹に充滿せり」という文章が刻まれている。(28) 15世紀後半以降、明の弱体化によって公的な貿易が低調になると、琉球は中国福建地方との間で密貿易を進めるとともに、九州南部の勢力とも関係を強めた。

問1 下線部 (21) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- ア 漁労・狩猟を生業とし、文様のある土器や鉄器を使用していた。
- イ 漁労・狩猟を中心に稲作も行い、独自の文字を使用していた。
- ウ 竪穴住居に住み、漁労・狩猟や豚の飼育を行い、大陸系の青銅器を使用していた。
- エ 集落を営んで漁労・狩猟・雑穀栽培と交易を行い、独自の言語を話した。

問2 空欄 **22** にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の ア～オの中から1つ選び、解答欄 **22** にマークしなさい。

- ア 奥州藤原 イ 北条 ウ 安藤 エ 島津 オ 松前

問3 下線部(23)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 23 にマークしなさい。

- ア 道南部の海岸付近に港や館を中心とする和人地をつくった。
- イ 道南部の居住地の館に明銭39万枚を蓄えていた。
- ウ 道南部にコタンとよばれる居住地をつくった。
- エ 道南部の居住地に十三湊とよばれる港湾施設を築造した。

問4 空欄 a と空欄 b の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 24 にマークしなさい。

- ア a シャクシャイン b 下之国の志苔館
- イ a シャクシャイン b 上之国の花沢館
- ウ a コシャマイン b 下之国の志苔館
- エ a コシャマイン b 上之国の花沢館

問5 下線部(25)の名称として最もふさわしいものを、次のア～オから1つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

- ア 所司 イ 郡司 ウ 下司 エ 郷司 オ 按司

問6 下線部(26)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

- ア 琉球は東南アジア産の染料・香木などを日本に輸出した。
- イ 琉球は日本で写された経典を中国に輸出した。
- ウ 琉球は中国産の黒糖を東南アジアに輸出した。
- エ 琉球は中国産の木綿を朝鮮に輸出した。

問7 下線部(27)に記された内容として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 27 にマークしなさい。

- ア 朝鮮から人材を集めた琉球は、明や日本を手足とする強大な貿易国になった。
- イ 東アジアの南海に位置する琉球は、中継貿易によって栄えている。
- ウ 琉球は隆起によって形成された火山島であり、金銀などの鉱物に満ちている。
- エ 琉球の船はアジアを越えて、世界中の港に財宝を輸出している。

問 8 下線部 (28) の時期の東アジアの出来事として誤っているものを、次の ア～エ の中から 1 つ
選び、解答欄 28 にマークしなさい。

- ア 日明貿易の利益を争った細川氏と大内氏が寧波で衝突した。
- イ ポルトガルがマカオを拠点として、日明間の密貿易に参入した。
- ウ 対馬の宗貞茂が死去すると、倭寇の活動が活発になり、朝鮮が対馬を襲撃した。
- エ 灰吹法導入により石見銀山の産出量が飛躍的に増大した。

3 この問題は、解答欄 41 ～ 48 に解答すること。

次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

(41) 菱垣廻船積問屋共より、是迄年々金一万二百両つつ (42) 冥加 上げ金納め致し来たり候所、
(43) 問屋共不正の趣 も相聞こえ候に付き、以来上納に及ばず候。尤、向後右 (44) 仲間株札 は勿
論、此外にも都て問屋仲間 并 組合などと唱え候義は相成らず候。右に付いては、是迄右船に積み来
たり候諸品は勿論、都て何国より出で候何品にても、(45) 素人直売買勝手次第 たるべく候。且又
(46) 諸家国産類其外惣て 47 表へ相廻し候品にも、問屋に限らず銘々出入の者共等引き受
け、売り捌き候義も、是又勝手次第候。

(48) 十二月

(『江戸町触集成』 一部改訂)

問 1 下線部 (41) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解
答欄 41 にマークしなさい。

- ア 主に酒荷を上方から江戸に輸送した船で、荷積みが迅速だった。
- イ 大坂・江戸間の回漕船で、元禄年間に江戸十組問屋と提携した。
- ウ 知多半島の内海村を拠点とし、江戸・上方間の輸送を担った。
- エ 松前や日本海各地に寄港し、大坂などに物資を輸送した。

問 2 下線部 (42) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解
答欄 42 にマークしなさい。

- ア 札差に課された臨時の賦課金。
- イ 村高に応じて課された付加税。
- ウ 商工業者に課された営業免許税。
- エ 一国単位で課された人夫や金銭。

問 3 下線部 (43) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解
答欄 43 にマークしなさい。

- ア 上方市場からの商品流通を独占し、物価を高騰させた。
- イ 上方市場からの商品流通を独占し、物価を引き下げた。
- ウ 生産地から江戸へ商品を集中させ、物価を引き下げた。
- エ 生産地から長崎へ商品を集中させ、物価を高騰させた。

問4 下線部(44)に関連して、株仲間の説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **44** にマークしなさい。

- ア 江戸幕府は元禄期から積極的に株仲間を公認した。
- イ 徳川吉宗は人参座を設けて粗悪な人参の流入を防いだ。
- ウ 江戸幕府は政策を撤回し、1851年に株仲間を再興した。
- エ 真鍮座と鉄座は、寛政改革の一環として設置された。

問5 下線部(45)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ア 在郷商人らの活躍により長崎における貿易額が増加した。
- イ 在郷商人らの取引が活発になり、旗本・御家人の生活が向上した。
- ウ 江戸幕府は在郷商人らが商品の集荷を規制することを期待した。
- エ 江戸幕府は在郷商人らの自由な取引による物価引き下げを期待した。

問6 下線部(46)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ア 高知(土佐)藩では、縮織や鉄の専売制を強化した。
- イ 佐賀(肥前)藩では、有田焼などの専売制を進めた。
- ウ 鹿児島(薩摩)藩では、本多利明が昆布の専売を手掛けた。
- エ 萩(長州)藩では、村田清風が和漢薬の専売制を実施した。

問7 空欄 **47** にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ア 京都 イ 大坂 ウ 名古屋 エ 江戸 オ 長崎

問 8 下線部 (48) に関して、この時期の将軍と老中の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の ア～カ の中から 1 つ選び、解答欄 48 にマークしなさい。

- ア 徳川家治 田沼意次
- イ 徳川家斉 田沼意次
- ウ 徳川家斉 松平定信
- エ 徳川家慶 松平定信
- オ 徳川家慶 水野忠邦
- カ 徳川家茂 水野忠邦

4 この問題は、解答欄 **61** ～ **68** に解答すること。

次の文章 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

A 犬養毅は1855年、現在の岡山県に生まれた。1875年に上京した後は慶応義塾で学んだ。1881年、福沢諭吉との縁で大隈重信のもとで官吏となったが、(61) 明治十四年の政変で大隈とともに下野し、立憲改進黨に加わった。(62) 第1回衆議院議員総選挙で当選して以来、通算19回連続で当選を続けて党首・党幹部として活躍したが、非自由党・非立憲政友会系の政党に長く属し、政治生活の大半を野党で過ごした。なお、犬養は中国の革命運動も支援しており、孫文をはじめとする人々と終生かわりを有した。

犬養にとって最大の転機の一つは、1912～13年の大正政変である。(a) 犬養は尾崎行雄とともに、「閥族打破・憲政擁護」を唱えて第1次護憲運動の先頭にたち「憲政の神様」と呼ばれた。とはいえ、犬養が属した立憲国民党の政治家の多くは、桂太郎の新党に活路を見出して離党したため、国民党は犬養を中心とする少数政党に転落した。

「閥族打破」を訴えた犬養自身の歩みも紆余曲折を極めた。桂太郎内閣が倒れた後、(b) 山本権兵衛内閣ができると犬養は好意的な態度を取り、寺内正毅内閣が設置した臨時外交調査会にも参加した。犬養なりの見識ではあったが、「憲政の神様」の名声は傷ついた。

1922年に国民党を母体として革新倶楽部を設立した犬養は、政策重視の姿勢を強調して、節約した政費・軍事費を科学振興に振り向けることで、重化学工業中心の経済発展を目指す「産業立国」論を唱えた。また、(c) 普通選挙の導入による政治参加の拡大も訴えるなど支持拡大に努めたが、党勢は振るわなかった。1923年、関東大震災直後に成立した第2次山本権兵衛内閣には普通選挙断行を条件に入閣するが、これも実現しなかった。

(d) 1924年の第2次護憲運動では、政友会・憲政会とともに護憲三派を形成し、男子普通選挙を実現に導いた。いわゆる普通選挙法が成立した後、犬養は「産業立国」論に共鳴する (63) 政友会に革新倶楽部を合流させて、一度は政界を事実上隠退した。

犬養にとってもう一つの大きな転機となったのは、1929年の政友会総裁への就任だった。田中義一政友会総裁が急死したため総裁に担ぎ出された犬養は、晩年に野党第一党の党首となり、再び政策の重要性を説いた。その一方で (e) ロンドン海軍軍縮条約（軍備制限条約）問題では統帥権を持ち出して浜口雄幸内閣を批判した。

1931年、犬養は76歳で首相の座に上り詰めた。(64) 犬養内閣は、景気回復と「産業立国」の実現を訴え、1932年2月の総選挙で圧勝した。また、満洲事変後の日中関係の悪化に対して、犬養は独自の中国人脈を活用して、中国国民政府との和平交渉を図ろうとした。しかし、国家改造運動が高まるなか、5月15日に首相官邸で海軍青年将校に襲撃され、命を落とした。

このような犬養毅の長い政治的生涯は、過去の、そして混迷する現在の政治を考えるうえで示唆に富んでいる。

問1 下線部(61)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 61 にマークしなさい。

- ア 政変により出されたのが漸次立憲政体樹立の詔である。
- イ 政変により下野した大隈重信はフランス型の議院内閣制導入を主張していた。
- ウ 政変後、政府は薩摩・長州・土佐・肥前の四藩出身者が中核を担うようになった。
- エ 政変後、政府は憲法調査のため伊藤博文をヨーロッパに派遣した。

問2 下線部(62)に関連して、歴史上の衆議院議員総選挙に係わる説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 62 にマークしなさい。

- ア 1890年の衆議院議員総選挙では、政府支持の政党が衆議院の過半数を占めた。
- イ 1892年の衆議院議員総選挙では、時の黒田清隆内閣が激しい選挙干渉を行った。
- ウ 1915年の衆議院議員総選挙では、大衆的な選挙戦術を採用した立憲同志会が勝利した。
- エ 1920年の衆議院議員総選挙は、選挙法改正により中選挙区制のもとで行われた。

問3 下線部(63)に関連して、歴代の立憲政友会総裁の事跡に係わる説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 63 にマークしなさい。

- ア 西園寺公望が首相だったときに公布された法律に工場法がある。
- イ 加藤高明は外務大臣として二十一ヶ条要求を推進した。
- ウ 原敬は日本の憲政史上初となる衆議院に議席を持った首相である。
- エ 田中義一が首相だったときに外相に起用したのが幣原喜重郎である。

問4 下線部(64)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 64 にマークしなさい。

- ア 犬養内閣は、巨額の不良債権を抱えていた台湾銀行を緊急勅令で救済した。
- イ 満洲事変後、満洲国が成立すると、犬養内閣はこれを即時承認した。
- ウ 高橋是清蔵相は金輸出を解禁し、日本を管理通貨制度に移行させた。
- エ 犬養内閣による管理通貨制度への移行により、円相場は下落し、輸出は急増していった。

B 次の①～④の文章は、犬養毅についてなされる評価の例である。

- ①犬養毅は、反藩閥政治家、議会政治家としてその生涯を歩んだ。男子普通選挙の実現にも大きく寄与するなど、日本における議会政治の発展に尽くしたといえる。
- ②犬養毅は、野党指導者として存在感を示すため、時に党利党略と批判されるような行動をとった。そのことは、政党政治、そして自身の生命をも縮める結果を招いたといえる。
- ③犬養毅は、辛亥革命を率いた孫文をはじめ、中国の要人とのあいだに独自の人脈を有していた。首相在任時はその人脈を活かして外交関係の打開を図ったといえる。
- ④犬養毅の政治行動は、政治参加の拡大に努めた「憲政の神様」という理想像と、野党指導者という現実との間で複雑かつ矛盾を抱えたものとなったといえる。

問5 文章Bのうち、②の立場に立って犬養を評価する場合、その根拠となる事象は文章Aの下線部(a)から(e)のうちどれか。次のア～オの中からふさわしいものをすべて選び、解答欄 65 にマークしなさい。

- ア 下線部 (a) イ 下線部 (b) ウ 下線部 (c)
エ 下線部 (d) オ 下線部 (e)

問6 文章Bの③に関連して、辛亥革命に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 66 にマークしなさい。

- ア 辛亥革命によって滅びた清朝最後の皇帝は、二度と皇帝の座に復位しなかった。
イ 日本陸軍は辛亥革命への軍事干渉を主張したが、政府は不干渉の立場をとった。
ウ 日本陸軍は北満洲・外蒙古の權益を確保するため、二個師団の増設を強く求めた。
エ 不安定化した革命後の中国で起きた事件の一つが北清事変である。

問7 文章Bのうち、④の立場に立って犬養を評価する場合、その根拠となる事象は文章Aの下線部(a)から(e)のうちどれか。次のア～エの中からふさわしい組み合わせをすべて選び、解答欄 67 にマークしなさい。

- ア 下線部 (a) と (b) イ 下線部 (a) と (c)
ウ 下線部 (a) と (d) エ 下線部 (a) と (e)

問 8 文章 A 全体の内容は文章 B ①～④のうちのいずれの視点から記されているか。文章 A の内容をよく読んだうえで、最もふさわしいものを次の ア～エ の中から 1 つ選び、解答欄

68

 にマークしなさい。

ア 文章 B の① イ 文章 B の② ウ 文章 B の③ エ 文章 B の④

5 この問題は、解答欄 **81** ～ **84** に解答すること。

次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。(8点)

私が、キューバで一定の事態が生じれば、アメリカは自国および同盟国の安全を守るためあらゆる行動をとると公式に声明したのは、貴国政府がキューバにかんして誤った判断を下すのを避けるためです。……キューバでは、**(82)** 長距離ミサイル基地を含む攻撃的兵器システムの配備が急速に進められています。アメリカは、この西半球の安全への脅威を除去する決意であると申し上げなければなりません。

(歴史学研究会編『世界史史料11 20世紀の世界Ⅱ』より)

問1 上の史料は、東西冷戦期に米ソが一触即発の事態となった「キューバ危機」の渦中で、アメリカ大統領が発信した公式書簡の一部である。この事件が起きた西暦年と、この書簡の発信者の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の **ア～エ**の中から1つ選び、解答欄 **81** にマークしなさい。

ア 1956年 — アイゼンハワー

イ 1962年 — ケネディ

ウ 1968年 — ジョンソン

エ 1970年 — ニクソン

問2 史料の下線部 **(82)** は、キューバ危機によって新たに浮上した、冷戦対立の争点を示唆している。この争点をめぐる国際情勢について述べた文として最もふさわしいものを、次の **ア～エ**の中から1つ選び、解答欄 **82** にマークしなさい。

ア 核兵器使用が現実化したことを受けて、部分的核実験禁止条約(PTBT)にアメリカ、ソ連、イギリスが調印した。

イ 中国は、核開発計画を放棄して「平和五原則」を発表した。

ウ 核拡散防止条約(NPT)によって、国連加盟国すべての核保有が禁止された。

エ 日本の提案によって、原子力の平和利用を推進する国際原子力機関(IAEA)が設置された。

問3 この史料の送信先であるソ連指導者が在任中に行った事項について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **83** にマークしなさい。

ア 初めてアメリカを公式訪問し、アメリカ大統領とマルタ会談を行った。

イ 非同盟諸国会議に出席した。

ウ 「プラハの春」を軍事力で鎮圧させた。

エ 「スターリン批判」を行い、コミンフォルムを解散した。

問4 キューバ危機前後の冷戦期の国際社会における日本の状況について述べた次の文A～Dが、起きた順に正しく配列されているものを、下の ア～カの中から1つ選び、解答欄 **84** にマークしなさい。

A ソ連と国交を回復し、国際連合に加盟した。

B 日中共同声明を発して中国との国交を正常化した。

C 日米新安全保障条約を締結した。

D 朝鮮戦争休戦後の韓国と日韓基本条約を結んだ。

ア A→B→C→D イ A→C→D→B

ウ B→D→C→A エ C→A→B→D

オ D→C→A→B カ D→C→B→A